

平成27年3月期
決算説明資料

スルガ銀行株式会社

【 目 次 】

I	平成27年3月期決算の概要			
1.	損益の状況	単		1
2.	主要勘定の状況	単		3
3.	経営指標の状況	単		5
4.	自己資本の状況	単		6
5.	有価証券の評価差額の状況	単		7
6.	平成28年3月期の業績予想	単・連		
7.	資産の状況	単		8
8.	与信費用の状況	単		9
9.	配当の状況	単		10
II	平成27年3月期決算の状況			
1.	損益状況	単		11
		連		12
2.	業務純益	単		
3.	利ざや	単		13
4.	ROA・ROE	単		
5.	有価証券関係損益	単		
6.	自己資本比率	単・連		14
III	貸出金等の状況			
	資産内容の開示における各種基準の比較	単		15
1.	リスク管理債権の状況	単・連		16
2.	リスク管理債権に対する引当率	単・連		17
3.	貸倒引当金等の状況	単・連		
4.	金融再生法開示債権	単		
5.	金融再生法開示債権の保全状況	単		
6.	業種別貸出状況等			
①	業種別貸出金	単		18
②	業種別リスク管理債権	単		
③	個人ローン残高	単		19
④	中小企業等貸出比率	単		
7.	国別貸出状況等			
①	特定海外債権残高	単		
②	アジア向け貸出金	単		
8.	預金、貸出金の残高	単		
9.	店舗数	単		
IV	時価のある有価証券の評価差額			
1.	評価差額	単・連		20
V	退職給付関連			
1.	退職給付費用に関する事項	単・連		21

(注)表中の増減比較値は、表上の計数(単位:百万円、%)で比較した値です。

I. 平成27年3月期決算の概要

1. 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
業務粗利益	99,452	8,585	90,867
資金利益	100,368	7,930	92,438
役務取引等利益	△2,003	△219	△1,784
その他業務利益(注1)	96	△15	111
コア業務粗利益	98,460	7,695	90,765
経費 △	45,600	2,261	43,339
コア業務純益(注2)	52,860	5,435	47,425
国債等債券損益	991	890	101
一般貸倒引当金繰入額 △(注3)	—	—	—
業務純益	53,852	6,325	47,527
不良債権処理額△	4,211	△1,051	5,262
貸倒引当金戻入益(注3)	2,485	△937	3,422
償却債権取立益	747	△24	771
株式等損益	△221	△272	51
経常利益	51,850	6,487	45,363
固定資産処分損益	△1,071	△795	△276
当期純利益	32,135	4,582	27,553
与信費用	1,726	△114	1,840
実質与信費用(注4)	979	△89	1,068

(注1) 除く国債等債券損益

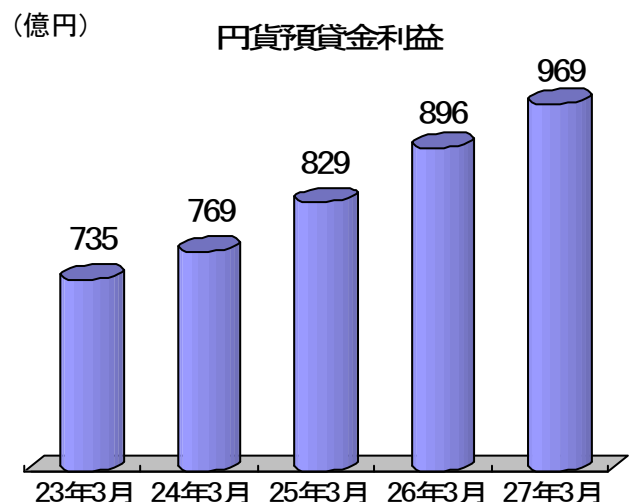
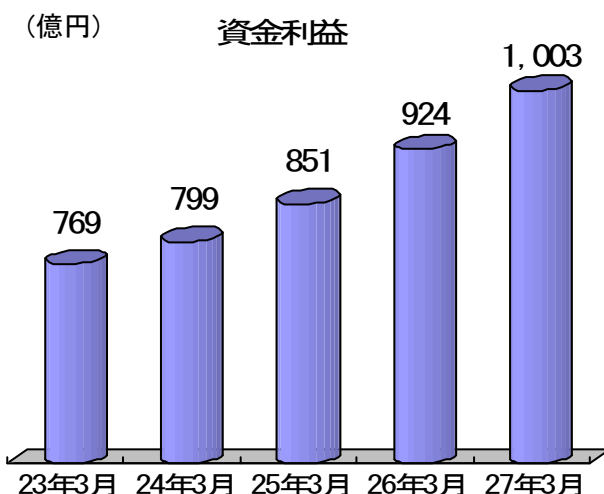
(注2) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

(注3) 平成27年3月期において、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金繰入額を上回り、貸倒引当金が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。
 平成26年3月期において、一般貸倒引当金ならびに個別貸倒引当金が取崩となりましたので、取崩額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(注4) 実質与信費用＝与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額-貸倒引当金戻入益)-償却債権取立益

(1) 業務粗利益：994億円

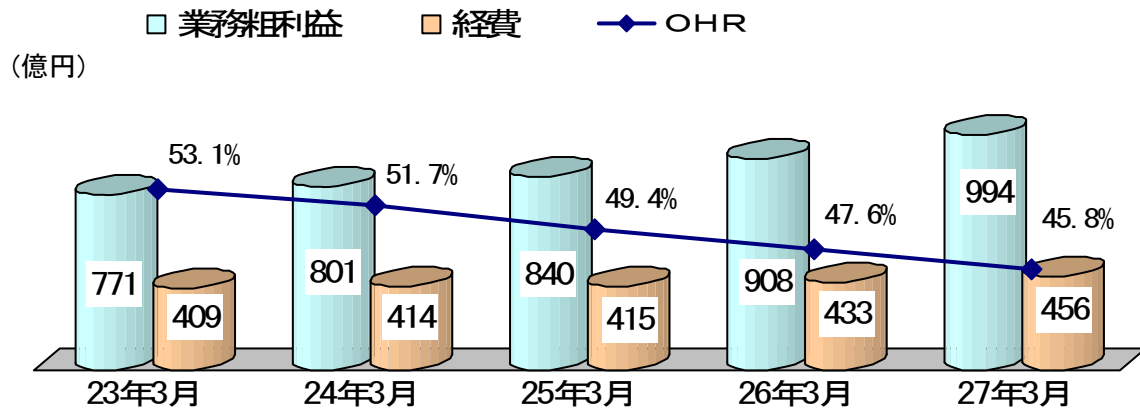
- ・ 資金利益は、貸出金利息の増加が寄与し、前期比79億円増加。
- ・ 円貨預貸金利益は、前期比73億円増加。
- ・ コア業務粗利益は、資金利益の増加(79億円)を主因に前期比76億円増加。
- ・ 業務粗利益は、前期比85億円増加。



(2) 経費：OHRは 45.8%

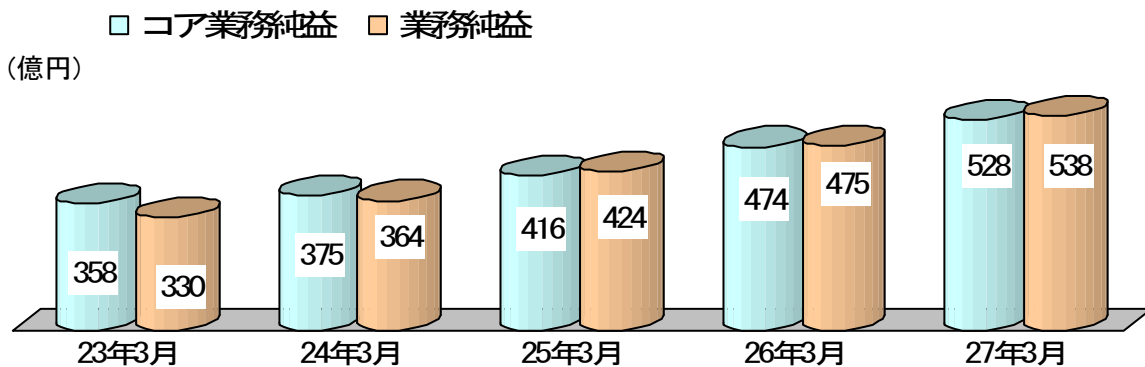
- ・経費は、前期比22億円の増加。
- ・OHRは、業務粗利益の増加（85億円）により前期比改善し、45.8%。

$$(OHR(\%) = \text{経費} \div \text{業務粗利益} \times 100)$$



(3) コア業務純益：528億円・業務純益：538億円

- ・コア業務純益は、資金利益の増加（79億円）により、前期比54億円増加。
- ・業務純益は、前期比63億円増加。



(4) 経常利益：518億円

- ・経常利益は、業務純益の増加（63億円）により、前期比64億円増加。

(5) 当期純利益：321億円

- ・当期純利益は、経常利益の増加（64億円）により、前期比45億円増加。

(6) 実質与信費用：9億円

- ・与信費用は、不良債権処理額の減少（10億円）や、貸倒引当金戻入益の減少（9億円）により、前期比1億円の減少。
- ・実質与信費用は、与信費用（17億円）から償却債権取立益（7億円）を控除した9億円。

2. 主要勘定の状況【単体】

(1) 貸出金

- ・貸出金期末残高は、個人ローンの増加を主因に、前期末比1,312億円(4.5%)増加。
- ・個人ローンは、フリーローンを中心に、3,932億円を実行し、期末残高は前期末比1,396億円(5.6%)増加。
- ・貸出金利回り(国内)は、前期比0.11%上昇の、3.51%。
- ・住宅ローン、フリーローンの延滞率・毀損率は低い水準を維持。

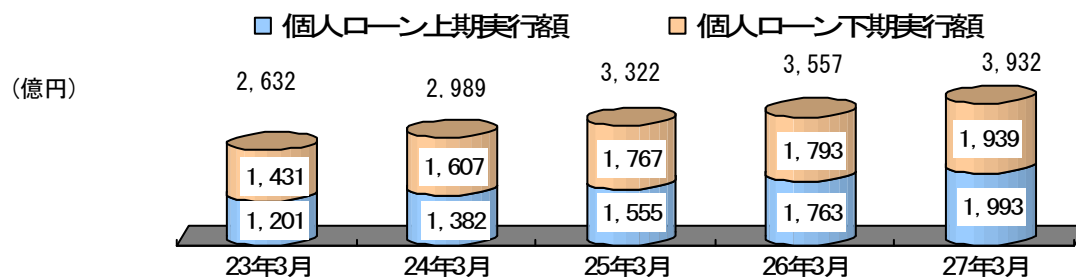
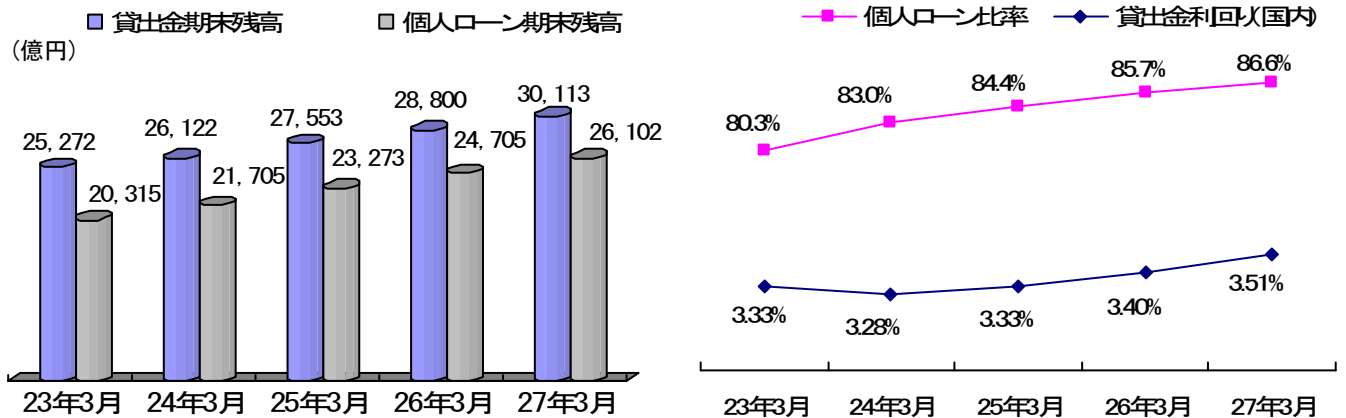
(単位：百万円)

	27年3月	26年9月比	26年3月比	26年9月	26年3月
貸出金(期末残高)	3,011,310	57,055	131,225	2,954,255	2,880,085
うち個人ローン	2,610,205	60,457	139,683	2,549,748	2,470,522
うち住宅ローン	1,956,248	△8,958	△203	1,965,206	1,956,451
貸出金(期中平均残高)	2,883,802	37,559	131,042	2,846,243	2,752,760
預貸率(末残ベース)	76.0%	△0.8%	0.6%	76.8%	75.4%
預貸率(平残ベース)	75.6%	0.5%	△1.7%	75.1%	77.3%

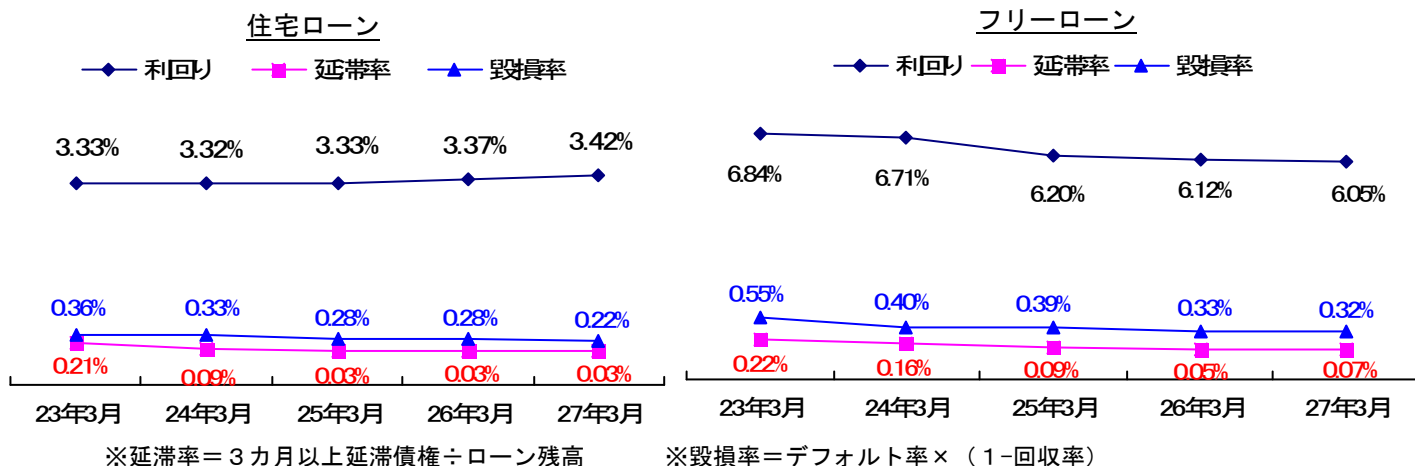
(参考)

(単位：億円)

ゆうちょ銀行代理事業 取扱い分	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
住宅ローン実行額(年間累計)	348	104	244



【個人ローンの延滞率・毀損率の状況】

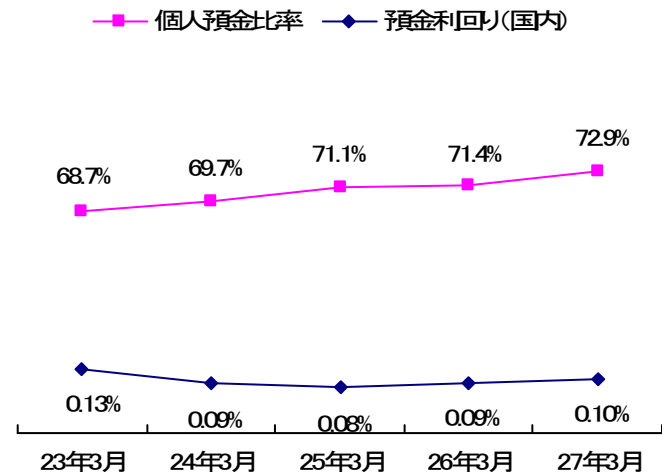
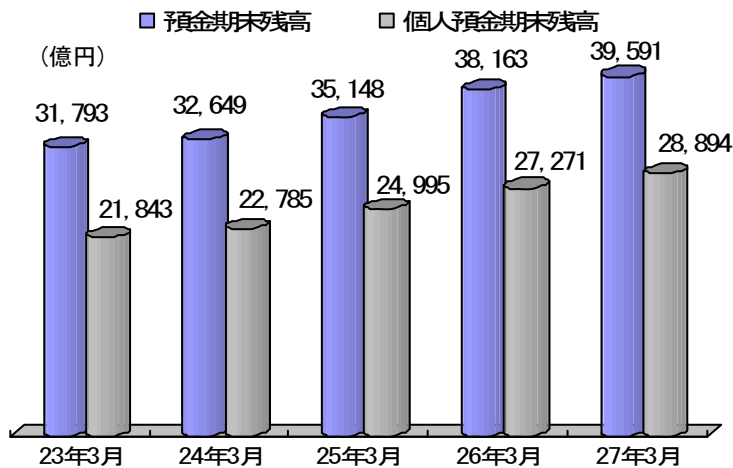


(2) 預金

- ・ 預金期末残高は、個人預金残高の増加により前期末比 1, 4 2 8 億円 (3. 7 %) 増加。
- ・ 個人預金期末残高は、前期末比 1, 6 2 2 億円 (5. 9 %) 増加。
- ・ 預金利回り (国内) は、前期比 0. 0 1 % 上昇し 0. 1 0 %。

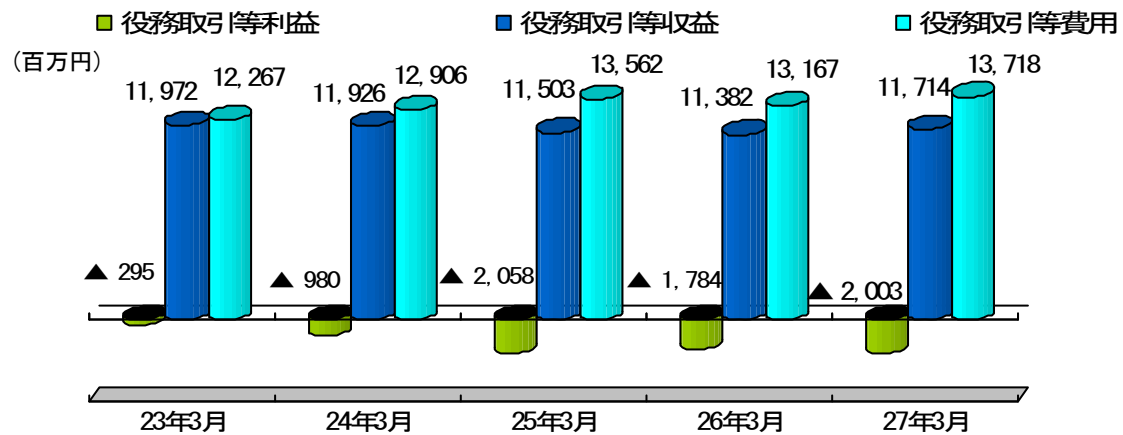
(単位：百万円)

	2 7 年 3 月	2 6 年 9 月 比	2 6 年 3 月 比	2 6 年 9 月	2 6 年 3 月
預金 (期末残高)	3, 959, 197	115, 850	142, 824	3, 843, 347	3, 816, 373
うち個人預金	2, 889, 421	68, 019	162, 234	2, 821, 402	2, 727, 187
預金 (期中平均残高)	3, 813, 149	23, 760	252, 923	3, 789, 389	3, 560, 226



(3) 役務取引等利益

- ・ 役務取引等利益は、役務取引等費用の増加 (5 億円) 等により、前期比 2 億円の減少。



(4) 個人預り資産

- ・個人預り資産期末残高は、前期末比 1.511 億円増加。
- ・投資性商品比率（個人預り資産残高全体に占める割合）は、前期末比 0.9% 低下の 7.9%。

(単位：百万円)

	27年3月末	26年9月末比	26年3月末比	26年9月末	26年3月末
個人預り資産残高	3,131,343	62,417	151,144	3,068,926	2,980,199
うち円貨預金	2,882,275	69,528	164,342	2,812,747	2,717,933
うち投資性商品	249,068	△7,111	△13,198	256,179	262,266
うち外貨預金	7,146	△1,509	△2,108	8,655	9,254
うち国債等保護預り	22,325	△4,799	△7,996	27,124	30,321
うち投資信託	134,307	8,816	15,924	125,491	118,383
うち個人年金保険	71,000	△10,389	△20,870	81,389	91,870
うち一時払終身保険	14,288	771	1,853	13,517	12,435
投資性商品比率	7.9%	△0.4%	△0.9%	8.3%	8.8%

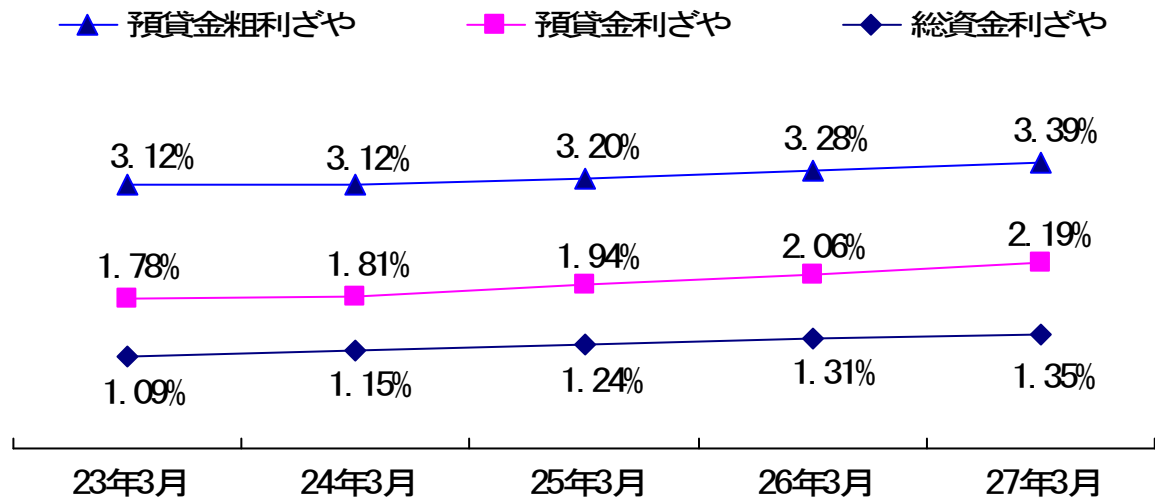
3. 経営指標の状況【単体】

(1) 利ざや

- ・預貸金利ざやは、貸出金利回りの上昇や、経費率の低下により、前期比 0.13% 拡大の 2.19%。
- ・総資金利ざやは、資金運用利回りの上昇ならびに資金調達原価の低下により、前期比 0.04% 拡大し 1.35% となり、高水準を維持。

(単位：%)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
預貸金粗利ざや	3.39	0.11	3.28
預貸金利ざや	2.19	0.13	2.06
総資金利ざや	1.35	0.04	1.31



4. 自己資本の状況【単体】

・自己資本比率は、前期末比0.17%上昇し、11.59%。

平成26年3月末より新基準にて算出（経過措置を適用）。

新基準……バーゼルⅢを踏まえた国内基準

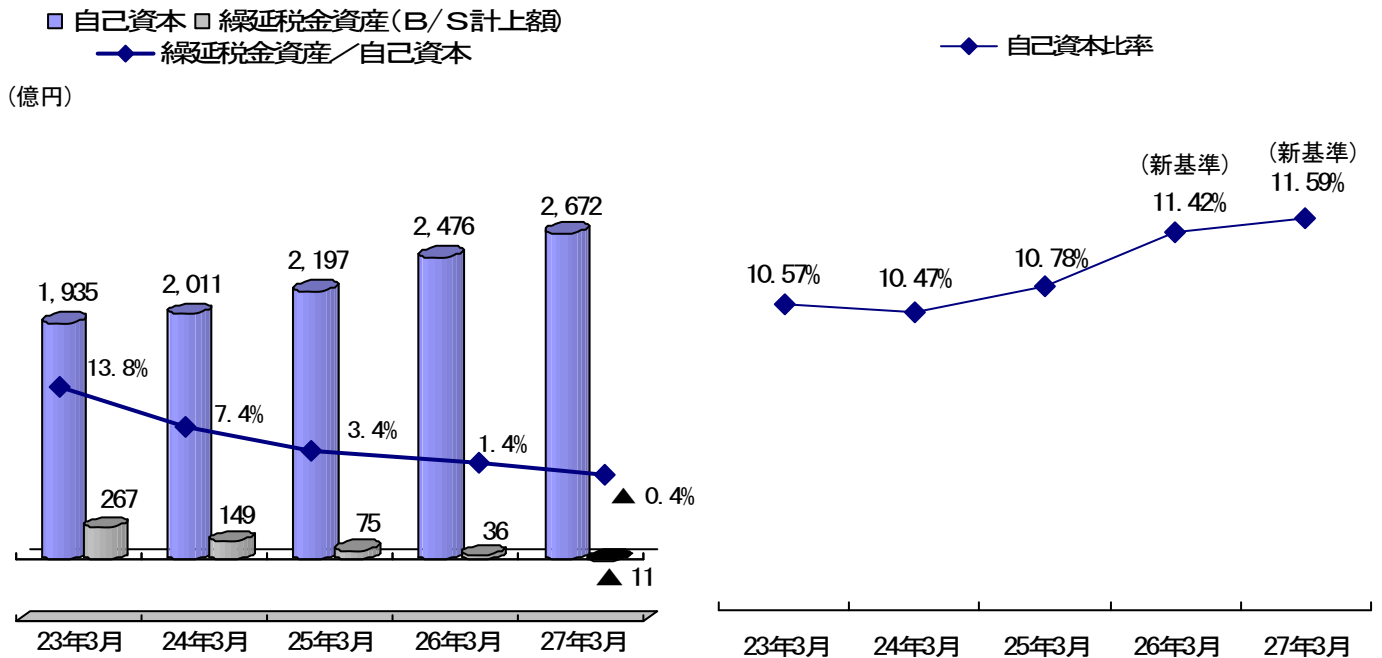
(1)信用リスク : 標準的手法

(2)オペレーショナルリスク : 基礎的手法

(3)CVAリスク : 簡便的リスク測定方式

(単位：%)

	27年3月末		26年9月末	26年3月末
	26年9月末比	26年3月末比		
自己資本比率(国内基準)	11.59	0.06	0.17	11.42



5. 有価証券の評価差額の状況【単体】

・有価証券の評価差額は、株式の評価差額の増加を主因に前期末比150億円増加。

(単位：百万円)

	27年3月末	26年9月末比		26年9月末	26年3月末
		26年9月末比	26年3月末比		
その他有価証券	30,820	11,432	14,884	19,388	15,936
株式	26,794	10,329	13,065	16,465	13,729
債券	40	△4	△7	44	47
その他	3,985	1,107	1,826	2,878	2,159

(単位：百万円)

	27年3月末	26年9月末比		26年9月末	26年3月末
		26年9月末比	26年3月末比		
満期保有目的（含み損益）	△162	180	140	△342	△302

6. 平成28年3月期の業績予想

【単体】

(単位：百万円)

	28年3月期（予想）	
	中間期	通期
経常収益	62,500	123,500
業務純益	28,000	56,500
経常利益	26,500	52,500
当期（中間）純利益	17,500	35,000
実質与信費用	1,500	3,000

【連結】

(単位：百万円)

	28年3月期（予想）	
	中間期	通期
経常収益	67,500	134,500
経常利益	26,900	53,400
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	17,600	35,300

(注)業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

7. 資産の状況【単体】

(1) 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、前期末比53億円減少し、457億円。
また、開示債権比率については、前期末比0.26%低下し、1.50%。

〔残高推移〕

(単位:百万円、%)

	27年3月末	26年9月末比	26年3月末比	26年9月末	26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,540	22	△692	7,518	8,232
危険債権	18,817	△1,093	△3,161	19,910	21,978
要管理債権	19,391	△1,251	△1,521	20,642	20,912
合 計 A	45,748	△2,323	△5,374	48,071	51,122
総与信残高 B	3,031,904	57,675	131,713	2,974,229	2,900,191
総与信残高比 A/B	1.50	△0.11	△0.26	1.61	1.76

〔保全状況〕

(単位:百万円、%)

	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	債権額合計	26年3月末比
金融再生法開示債権額 A	7,540	18,817	19,391	45,748	△5,374
保全額合計(C+D) B	7,540	16,731	13,259	37,531	△4,807
担保保証等による保全額 C	4,680	15,068	10,298	30,047	△4,253
貸倒引当金による引当額 D	2,859	1,662	2,961	7,483	△555
保全率 (B/A)	100.00	88.91	68.37	82.03	△0.78

担保保証等で保全されていない部分 (A-C) E	2,859	3,748	9,093	15,701	△1,120
上記に対する引当率(D/E)	100.00	44.35	32.56	47.66	△0.13

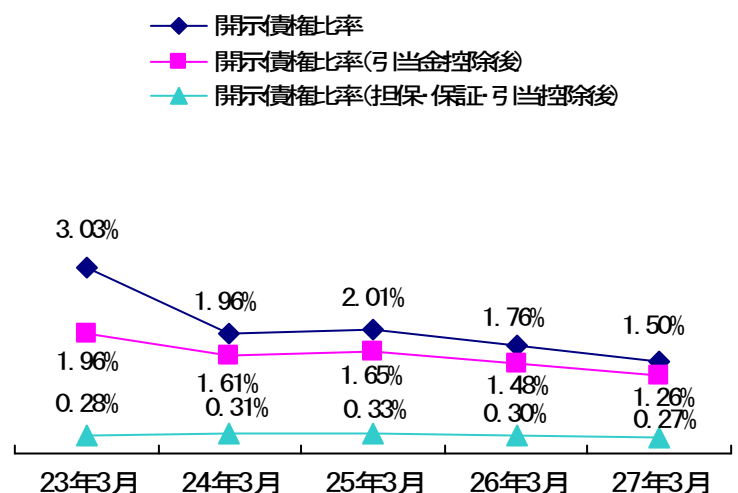
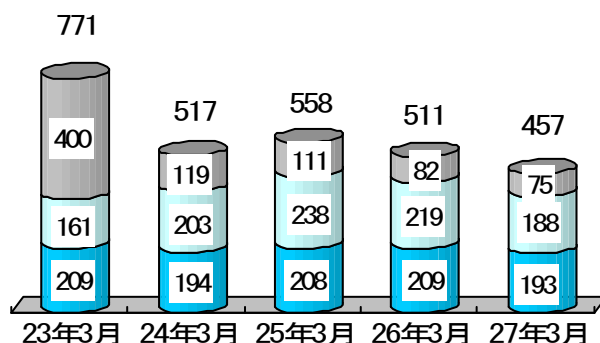
(参考) 26年3月末

担保保証等で保全されていない部分	2,595	4,445	9,781	16,821
上記に対する引当率	100.00	56.39	30.01	47.78

- (注)1. 破産更生債権等(自己査定上の破綻先・実質破綻先)の担保保証等により保全されていないIV分類債権は部分直接償却を実施しています。なお、今後再生が見込まれる等回収不能額の確定しない先に対しては個別貸倒引当金を計上しております。
2. 危険債権(自己査定上の破綻懸念先)については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、担保保証等により保全されていないⅢ分類債権に予想損失率を乗じて個別貸倒引当金に計上しております。
3. 要管理(先)債権については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、対象全債権(Ⅰ・Ⅱ分類)に予想損失率を乗じて一般貸倒引当金に計上しております。
4. なお、破綻懸念先及び要管理先で与信額が一定額以上の大口債務者のうち、将来キャッシュフローを合理的に見積ることができる債権については、DCF法により引当金を算出しております。

□ 破産・更生債権及びこれらに準ずる債権
□ 危険債権
■ 要管理債権

(億円)



(2) リスク管理債権

(単位:百万円、%)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
破綻先債権額	587	△247	△272	834	859
延滞債権額	25,652	△804	△3,565	26,456	29,217
3カ月以上延滞債権額	254	△59	△50	313	304
貸出条件緩和債権	19,136	△1,193	△1,471	20,329	20,607
合 計	45,631	△2,302	△5,358	47,933	50,989
保 全 率	81.99	△0.37	△0.80	82.36	82.79

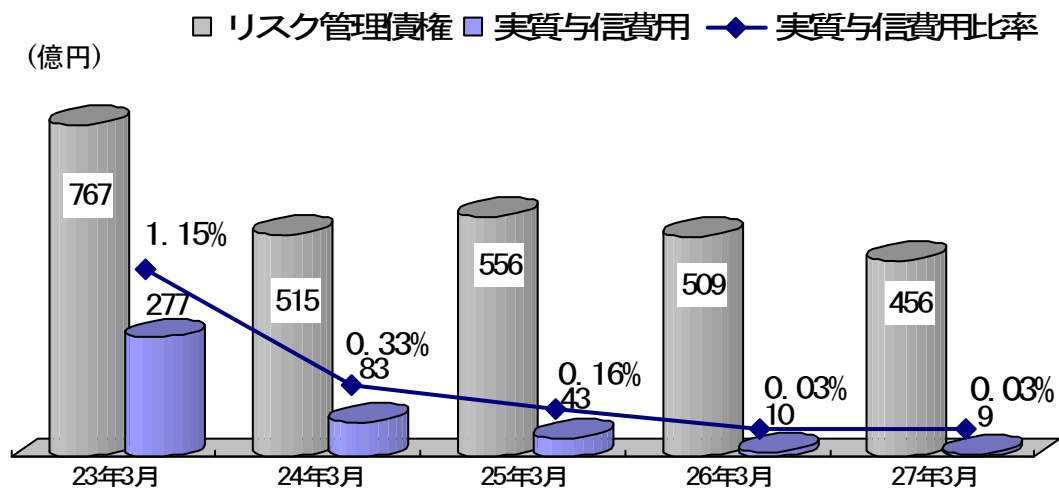
8. 与信費用の状況【単体】

(単位:百万円、%)

	27 年 3 月末	26 年 3 月末比	26 年 3 月末
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
不良債権処理額 ②	4,211	△1,051	5,262
貸出金償却	2,249	△485	2,734
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
延滞債権等売却損	2,023	△534	2,557
偶発損失引当金繰入額	△60	△32	△28
貸倒引当金戻入益 ③	2,485	△937	3,422
償却債権取立益 A	747	△24	771
与信費用 ④(=①+②-③)	1,726	△114	1,840
実質与信費用 ④-A	979	△89	1,068
貸出金平残	2,883,802	131,042	2,752,760
与信費用比率	0.05	△0.01	0.06
実質与信費用比率	0.03	0.00	0.03

※与信費用比率=与信費用÷貸出金平残

※実質与信費用比率=実質与信費用÷貸出金平残

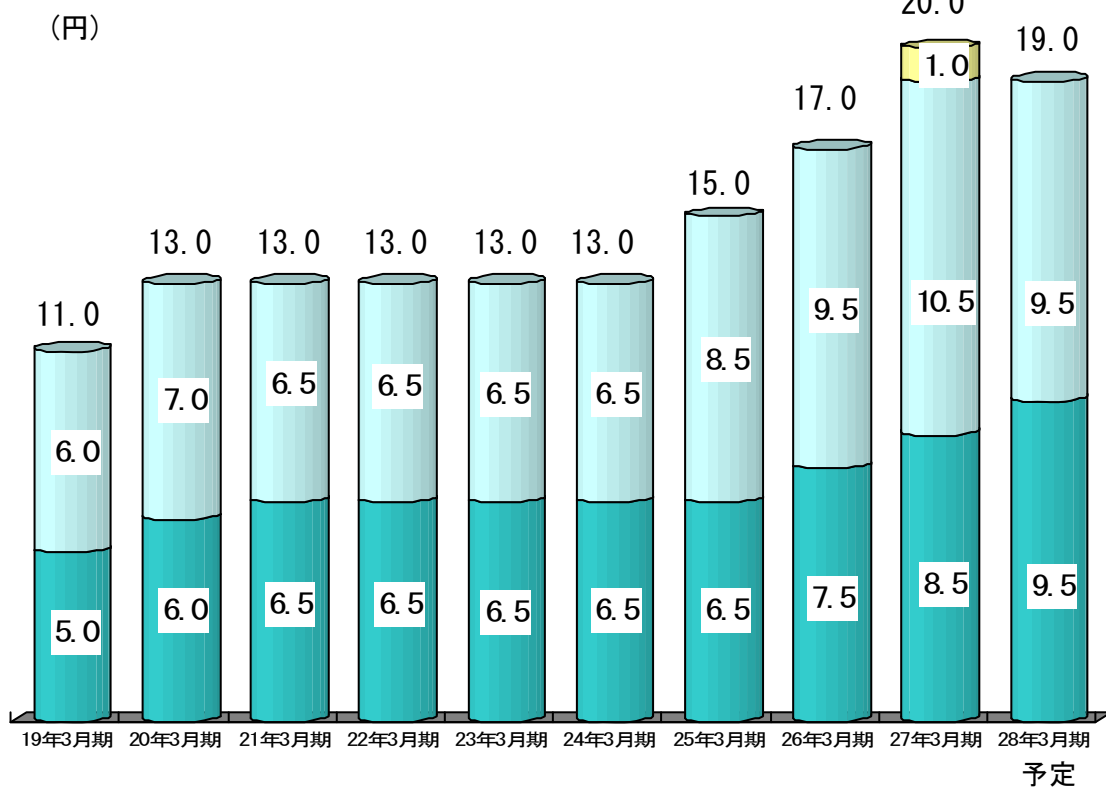


9. 配当の状況

- ・株主の皆様への利益還元を重視し、期末配当を1株当たり11.5円とし、年間配当を1株当たり20円（うち普通配当19円、創立120周年記念配当1円）とさせていただきます。
- 28年3月期につきましては、業績予想等を勘案し、1株当たり19円の配当を予定しております。

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期 (実績)
1株当たり年間配当金	20円00銭	3円00銭	17円00銭
中間配当金	8円50銭	1円00銭	7円50銭
期末配当金	11円50銭	2円00銭	9円50銭
うち普通配当金	10円50銭	1円00銭	9円50銭
うち記念配当金	1円00銭	1円00銭	—

- 期末記念配当金
 ■ 期末普通配当金
 ■ 中間配当金



Ⅱ. 平成27年3月期決算の状況

1. 損益状況【単体】

(単位：百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
業務粗利益	99,452	8,585	90,867
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(98,460)	7,695	(90,765)
国内業務粗利益	98,942	8,650	90,292
(除く国債等債券損益)	(97,950)	7,760	(90,190)
資金利益	99,977	7,978	91,999
役務取引等利益	△2,027	△220	△1,807
その他業務利益	992	891	101
うち国債等債券損益	(991)	890	(101)
国際業務粗利益	510	△65	575
(除く国債等債券損益)	(510)	△65	(575)
資金利益	391	△48	439
役務取引等利益	23	0	23
その他業務利益	95	△17	112
うち国債等債券損益	(—)	(—)	(—)
経費(除く臨時処理分)	45,600	2,261	43,339
人件費	18,114	2,243	15,871
物件費	24,300	220	24,080
税金	3,184	△203	3,387
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	53,852	6,325	47,527
(除く国債等債券損益)	52,860	5,435	47,425
一般貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
業務純益	53,852	6,325	47,527
うち国債等債券損益	991	890	101
臨時損益	△2,000	162	△2,162
うち貸倒引当金戻入益(注)	2,485	△937	3,422
うち償却債権取立益	747	△24	771
うち株式等損益(3勘定戻)	△221	△272	51
経常利益	51,850	6,487	45,363
特別損益	△1,050	△863	△187
うち固定資産処分損益	△1,071	△795	△276
固定資産処分益	—	△33	33
固定資産処分損	1,071	762	309
税引前当期純利益	50,799	5,624	45,175
法人税、住民税及び事業税	16,852	1,628	15,224
法人税等調整額	1,811	△587	2,398
法人税等合計	18,664	1,042	17,622
当期純利益	32,135	4,582	27,553
①一般貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
②不良債権処理額	4,211	△1,051	5,262
貸出金償却	2,249	△485	2,734
個別貸倒引当金繰入額(注)	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	△60	△32	△28
延滞債権等売却損	2,023	△534	2,557
③貸倒引当金戻入益(注)	2,485	△937	3,422
④与信費用(①+②-③)	1,726	△114	1,840
⑤償却債権取立益	747	△24	771
⑥実質与信費用(④-⑤)	979	△89	1,068

(注) 平成27年3月期において、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金繰入額を上回り、貸倒引当金が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

平成26年3月期において、一般貸倒引当金ならびに個別貸倒引当金が取崩となりましたので、取崩額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

損益状況【連結】

(単位：百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
連結粗利益	106,008	9,574	96,434
資金利益	105,419	8,781	96,638
役務取引等利益	△1,122	△235	△887
その他業務利益	1,711	1,028	683
経費（除く臨時処理分）	48,407	2,195	46,212
実質与信費用	3,266	291	2,975
株式等関係損益	△221	△246	25
持分法による投資損益	65	92	△27
その他	△772	361	△1,133
経常利益	53,405	7,295	46,110
特別損益	△1,044	△875	△169
税金等調整前当期純利益	52,360	6,419	45,941
法人税、住民税及び事業税	17,537	1,601	15,936
法人税等調整額	1,848	△450	2,298
法人税等合計	19,385	1,151	18,234
少数株主利益	83	△17	100
当期純利益	32,891	5,284	27,607

①一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
②不良債権処理額	5,895	△743	6,638
貸出金償却	3,820	△65	3,885
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
延滞債権等売却損	2,135	△646	2,781
偶発損失引当金繰入額	△60	△32	△28
③貸倒引当金戻入益	1,592	△1,027	2,619
④与信費用（①＋②－③）	4,302	284	4,018
⑤償却債権取立益	1,036	△7	1,043
⑥実質与信費用（④－⑤）	3,266	291	2,975

(注) 連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）
 ＋（その他業務収益－その他業務費用）

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	57,600	7,378	50,222
--------	--------	-------	--------

(注) 連結業務純益＝ 連結粗利益 － 連結経費 － 連結一般貸倒引当金繰入額（平成26年3月期ならびに平成27年3月期は「－」）

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	8	—	8
持分法適用関連会社数	1	—	1

2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
業務純益	53,852	6,325	47,527
職員一人当たり(千円)	33,594	3,703	29,891

3. 利ざや【単体】

(全店)

(単位：％)

		27年3月期	26年3月期比	26年3月期
(1) 資金運用利回	(A)	2.65	0.02	2.63
(イ) 貸出金利回		3.49	0.11	3.38
(ロ) 有価証券利回		1.20	0.30	0.90
(2) 資金調達原価	(B)	1.30	△0.01	1.31
(イ) 預金等利回		0.10	0.01	0.09
(3) 預貸金利ざや		2.19	0.13	2.06
(4) 総資金利ざや	(A)－(B)	1.35	0.04	1.31

(国内)

(単位：％)

		27年3月期	26年3月期比	26年3月期
(1) 資金運用利回	(A)	2.66	0.02	2.64
(イ) 貸出金利回		3.51	0.11	3.40
(ロ) 有価証券利回		1.18	0.32	0.86
(2) 資金調達原価	(B)	1.27	△0.01	1.28
(イ) 預金等利回		0.10	0.01	0.09
(3) 預貸金利ざや		2.20	0.12	2.08
(4) 総資金利ざや	(A)－(B)	1.39	0.04	1.35

4. ROA・ROE【単体】

(単位：％)

		27年3月期	26年3月期比	26年3月期
ROA	業務純益	1.31	0.07	1.24
	当期純利益	0.78	0.06	0.72
ROE	業務純益	23.34	0.53	22.81
	当期純利益	13.92	0.70	13.22

5. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

		27年3月期	26年3月期比	26年3月期
国債等債券損益（5勘定戻）		991	890	101
売却益		15	△11	26
償還益		1,097	344	753
売却損		0	△187	187
償還損		121	△369	490
償却		—	—	—
株式等損益（3勘定戻）		△221	△272	51
売却益		387	334	53
売却損		—	△2	2
償却		609	609	—

6. 自己資本比率（国内基準）

【単体】

（単位：百万円）

	27年3月末	26年3月末比	26年3月末
自己資本比率	11.59%	0.17	11.42%
自己資本（コア資本）	267,294	19,601	247,693
コア資本に係る基礎項目	271,341	23,549	247,792
コア資本に係る調整項目（△）	4,046	3,948	98
リスクアセット等	2,305,278	138,001	2,167,277

【連結】

（単位：百万円）

	27年3月末	26年3月末比	26年3月末
自己資本比率	11.69%	0.22	11.47%
自己資本（コア資本）	272,831	20,814	252,017
コア資本に係る基礎項目	279,778	25,331	254,447
コア資本に係る調整項目（△）	6,947	4,518	2,429
リスクアセット等	2,332,561	136,998	2,195,563

Ⅲ. 貸出金等の状況

資産内容の開示における各種基準の比較

【単体】

(平成 27 年 3 月末)

(単位：百万円)

開示基準別の分類・保全状況

自己査定結果(債務者区分別)					金融再生法の開示基準				リスク管理債権	
対象：貸出金等と信関連債権					対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債				対象：貸出金	
区 分 与信残高	分 類				区 分 与信残高	担保・保証	引当額	保全率	区 分	残 高
非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類							
破綻先 663 (293)	298	364	—	— (293)	破 産 更 生 債 権 お よ び こ れ ら に 準 ず る 債 権 7,540	4,680	2,859	100%	破綻先債権	587
実質破綻先 6,877 (2,566)	3,639	3,238	—	— (2,566)					延滞債権	25,652
破綻懸念先 18,817 (1,662)	9,655	7,075	2,085 (1,662)	—	危険債権 18,817	15,068	1,662	88.91%	3カ月以上 延滞債権	254
要 注 意 先	要管理先 29,598	1,176	28,421	—	要管理債権 19,391	10,298	2,961	68.37%	貸出条件緩 和債権	19,136
	要管理先以外 の要注意先 176,850	37,180	139,669	—	小計 45,748	30,047	7,483	82.03%	合計	45,631
正常先 2,799,048	2,799,048	—	—	—	正常債権 2,986,155					
合計 3,031,854 (4,522)	2,850,998	178,769	2,085 (1,662)	— (2,859)	合計 3,031,904					

(注 1) 貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

(注 2) 自己査定結果(債務者区分別)における()内は分類額に対する引当額であります。

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却 (平成 27 年 3 月期 単体 : 2,567 百万円 連結 : 4,095 百万円) 実施後

未収利息不計上基準 (自己査定の破綻懸念先、実質破綻先、破綻先に対する未収利息は全額不計上)

【単体】

(単位 : 百万円、%)

		27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
リスク管理債権	破綻先債権額	587	△247	△272	834	859
	延滞債権額	25,652	△804	△3,565	26,456	29,217
	3 カ月以上延滞債権額	254	△59	△50	313	304
	貸出条件緩和債権額	19,136	△1,193	△1,471	20,329	20,607
	合計	45,631	△2,302	△5,358	47,933	50,989
貸出金残高(末残)		3,011,310	57,055	131,225	2,954,255	2,880,085
貸出金残高比	破綻先債権額	0.01	△0.01	△0.01	0.02	0.02
	延滞債権額	0.85	△0.04	△0.16	0.89	1.01
	3 カ月以上延滞債権額	0.00	△0.01	△0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.63	△0.05	△0.08	0.68	0.71
	合計	1.51	△0.11	△0.26	1.62	1.77

【連結】

(単位 : 百万円、%)

		27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
リスク管理債権	破綻先債権額	923	△251	△312	1,174	1,235
	延滞債権額	30,569	△516	△3,192	31,085	33,761
	3 カ月以上延滞債権額	254	△59	△50	313	304
	貸出条件緩和債権額	19,136	△1,193	△1,471	20,329	20,607
	合計	50,883	△2,019	△5,026	52,902	55,909
貸出金残高(末残)		3,010,748	58,073	132,025	2,952,675	2,878,723
貸出金残高比	破綻先債権額	0.03	0.00	△0.01	0.03	0.04
	延滞債権額	1.01	△0.04	△0.16	1.05	1.17
	3 カ月以上延滞債権額	0.00	△0.01	△0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.63	△0.05	△0.08	0.68	0.71
	合計	1.69	△0.10	△0.25	1.79	1.94

2. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(単位：百万円、%)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
リスク管理債権額 (A)	45,631	△2,302	△5,358	47,933	50,989
担保・保証等 (B)	30,038	△1,773	△4,245	31,811	34,283
貸倒引当金 (C)	7,375	△295	△556	7,670	7,931
引当率 (C/A)	16.16	0.16	0.61	16.00	15.55
保全率 (B+C)/(A)	81.99	△0.37	△0.80	82.36	82.79

【連結】

(単位：百万円、%)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
リスク管理債権額 (A)	50,883	△2,019	△5,026	52,902	55,909
担保・保証等 (B)	31,624	△1,665	△4,132	33,289	35,756
貸倒引当金 (C)	9,740	△42	△330	9,782	10,070
引当率 (C/A)	19.14	0.65	1.13	18.49	18.01
保全率 (B+C)/(A)	81.29	△0.12	△0.67	81.41	81.96

3. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
貸倒引当金	17,268	△1,290	△3,335	18,558	20,603
一般貸倒引当金	12,678	△1,216	△2,754	13,894	15,432
個別貸倒引当金	4,589	△75	△581	4,664	5,170
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

【連結】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
貸倒引当金	22,673	△805	△2,737	23,478	25,410
一般貸倒引当金	15,038	△1,054	△2,400	16,092	17,438
個別貸倒引当金	7,635	250	△336	7,385	7,971
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

4. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,540	22	△692	7,518	8,232
危険債権	18,817	△1,093	△3,161	19,910	21,978
要管理債権	19,391	△1,251	△1,521	20,642	20,912
合計 (A)	45,748	△2,323	△5,374	48,071	51,122

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円、%)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
保全額 (B)	37,531	△2,089	△4,807	39,620	42,338
貸倒引当金	7,483	△305	△555	7,788	8,038
特定債務者引当金	—	—	—	—	—
担保保証等	30,047	△1,785	△4,253	31,832	34,300
保全率 (B)/(A)	82.03	△0.38	△0.78	82.41	82.81

6. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
国内店分 (除く 特別国際金融取引勘定)	3,011,310	57,055	131,225	2,954,255	2,880,085
製造業	70,142	3,009	10,493	67,133	59,649
農業、林業	5,664	△99	△547	5,763	6,211
漁業	479	8	5	471	474
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	△20	—	20
建設業	21,824	△1,101	△3,784	22,925	25,608
電気・ガス・熱供給・水道業	6,788	871	△59	5,917	6,847
情報通信業	1,510	△179	△252	1,689	1,762
運輸業、郵便業	13,045	△700	△732	13,745	13,777
卸売業、小売業	47,093	△2,080	△4,221	49,173	51,314
金融業、保険業	72,132	△9,154	△3,707	81,286	75,839
不動産業、物品賃貸業	87,619	799	△1,355	86,820	88,974
各種サービス業	43,073	△2,465	△4,728	45,538	47,801
国・地方公共団体	26,620	7,206	△890	19,414	27,510
その他	2,615,311	60,940	141,022	2,554,371	2,474,289

②業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
国内店分 (除く 特別国際金融取引勘定)	45,631	△2,302	△5,358	47,933	50,989
製造業	7,620	△7	△430	7,627	8,050
農業、林業	32	32	32	—	—
漁業	33	0	33	33	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	2,105	△180	△547	2,285	2,652
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0	6	6	—
情報通信業	126	0	0	126	126
運輸業、郵便業	360	△17	△14	377	374
卸売業、小売業	6,010	△156	△208	6,166	6,218
金融業、保険業	—	—	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	5,907	△927	△1,521	6,834	7,428
各種サービス業	3,650	△408	△795	4,058	4,445
国・地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	19,778	△638	△1,914	20,416	21,692

③個人ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
個人ローン残高	2,610,205	60,457	139,683	2,549,748	2,470,522
うち住宅ローン残高	1,956,248	△8,958	△203	1,965,206	1,956,451
うちその他ローン残高	653,957	69,416	139,886	584,541	514,071

④中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
中小企業等貸出比率	95.29	△0.51	△0.48	95.80	95.77

7. 国別貸出状況等

①特定海外債権残高【単体】

該当ございません。

②アジア向け貸出金【単体】

該当ございません。

8. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	27 年 3 月	26 年 9 月比	26 年 3 月比	26 年 9 月	26 年 3 月
預金 (期末残高)	3,959,197	115,850	142,824	3,843,347	3,816,373
(平均残高)	3,813,149	23,760	252,923	3,789,389	3,560,226
貸出金 (期末残高)	3,011,310	57,055	131,225	2,954,255	2,880,085
(平均残高)	2,883,802	37,559	131,042	2,846,243	2,752,760

9. 店舗数【単体】

(単位：店)

	27 年 3 月末	26 年 9 月末比	26 年 3 月末比	26 年 9 月末	26 年 3 月末
店舗数	131	1	1	130	130

IV. 時価のある有価証券の評価差額

1. 評価差額

【単体】

(単位：百万円)

	27年3月末				26年9月末				26年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
その他有価証券	73,052	30,820	31,271	451	64,339	19,388	20,451	1,062	63,339	15,936	17,177	1,240
株式	52,687	26,794	27,209	414	42,859	16,465	17,507	1,041	40,111	13,729	14,821	1,092
債券	1,933	40	40	0	2,530	44	44	0	2,749	47	48	0
その他	18,431	3,985	4,021	36	18,948	2,878	2,899	20	20,479	2,159	2,307	147

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 時価のある子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。
 3. 「評価差額」ならびに「含み損益」は、期末時点の時価と取得原価との差額を計上しております。
 4. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	27年3月末				26年9月末				26年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		含み益	含み損			含み益	含み損			含み益	含み損	
満期保有目的の債券	145,141	△162	0	162	145,182	△342	—	342	145,224	△302	—	302

【連結】

(単位：百万円)

	27年3月末				26年9月末				26年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
その他有価証券	74,321	31,868	32,319	451	65,323	20,152	21,214	1,062	64,237	16,612	17,852	1,240
株式	53,111	27,120	27,535	414	43,216	16,724	17,765	1,041	40,411	13,931	15,023	1,092
債券	1,933	40	40	0	2,530	44	44	0	2,749	47	48	0
その他	19,277	4,707	4,743	36	19,577	3,383	3,403	20	21,077	2,633	2,781	147

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 時価のある子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。
 3. 「評価差額」ならびに「含み損益」は、期末時点の時価と取得原価との差額を計上しております。
 4. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	27年3月末				26年9月末				26年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		含み益	含み損			含み益	含み損			含み益	含み損	
満期保有目的の債券	145,141	△162	0	162	145,182	△342	—	342	145,224	△302	—	302

V. 退職給付関連

1. 退職給付費用に関する事項

【単体】

(単位：百万円)

区 分	27 年 3 月期	26 年 3 月期
勤務費用	663	615
利息費用	306	393
期待運用収益	△614	△536
数理計算上の差異の費用処理額	△413	25
過去勤務債務の費用処理額	16	16
その他	—	42
退職給付費用	△42	557

【連結】

(単位：百万円)

区 分	27 年 3 月期	26 年 3 月期
勤務費用	703	663
利息費用	306	393
期待運用収益	△614	△536
数理計算上の差異の費用処理額	△413	25
過去勤務債務の費用処理額	16	16
その他	—	42
退職給付費用	△2	605

(注) 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。